

八雲立つ風土記の丘周辺 松江市

古代のこたな何でもこい 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

松江市大庭町
 <指定>国重文・考古資料館
 (平所遺跡墳輪・岡田山古墳出土品・荒神谷遺跡出土銅剣ほか)
 県内でも有数の史跡が集まっている風土記の丘。この中にある、県内唯一の考古学専門の資料館。出雲地方を代表する古墳「前方後方墳」をイメージした建物で、なかなか凝っている。外観もさることながら中身がすばらしい。県内の古墳や遺跡から出土したものが、わかりやすく展示されている。なんとと言っても日本中をわかせた荒神谷の銅剣や、邪馬台国の卑弥呼が持っていた鏡と言われる「景初三年」銘入りの三角縁神獣鏡、銀の文字のはいった刀で全国的に有名になった「銘文入り大刀」など、全国レベルの遺物が間近に見られるのがうれしい。古代の人の芸術性の高さに思わず感動してしまう「見返りの鹿」と名付けられた墳輪もおすすめ。年に1回の特別展や発掘調査の速報展も見逃せない。9時から5時。月曜休館。一般150円、小中生40円。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩5分
 <連絡先> 0852-23-2385
 <いにしえ> 3巻P17、4巻P22

銀の文字入り大刀が出土した岡田山古墳群

松江市大庭町
 <指定>国・史跡
 「風土記の丘」内にある。岡田山2号墳は直径43mの円墳で、県内で3番目に大きい。内部についてはまだ調査されていない。隣りにある1号墳は全長24mの前方後方墳で、全国的にも有名になった「額田部臣」という文字がはいった大刀や馬具、鏡が見つかった。石室の様子は外から見えるが、中にはいれない。赤い顔料が塗られている石棺は見逃さないで見てほしい。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩5分
 <いにしえ> 3巻P23

古代の体験ゾーン 出雲かんべの里

松江市大庭町
 風土記の丘資料館の西側にあり、民話館と工芸館がある。民話館では出雲地方の民話が最新技術でビジュアルに見聞できたり、囲炉裏を囲んで生の言葉で昔話が聞ける。工芸館では、専門家の指導のもと陶芸、機織り、てまり作りなど5つが体験できる(有料) 自然の森や観察園では歩きながら自然を楽しめるなど、文化から自然までファミリーにはおすすめゾーン。9時から5時。月曜休館(祝祭日は除く) 民話館は大人400円、小中生200円。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 風土記の丘下車、徒歩10分
 <連絡先> 0852-28-0040

最古の大社造り 神魂神社

松江市大庭町
 <指定>国宝(本殿)
 風土記の丘資料館のそばにある、大きな杉林の中に静かに建つ。本殿は太い柱で支えられた巨大な建物で、大社造りではもっとも古く、国宝に指定されている。本殿横の貴布祢・稻荷両神社も、中世の建築様式を伝える建物で、国の重要文化財。国宝にもかかわらず観光化されていないところもおすすめできる。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩10分
 <連絡先> 0852-21-6379
 <いにしえ> 6巻P20

しみじみと観音様を拝める寺 浄音寺

松江市大庭町
 <指定>国重文・彫刻
 出雲観音霊場の1つで、歴史のある寺。高さ1.3mの木造十一面観音立像は、鎌倉時代の作で優品。入口にあるお宅に頼めば、拝観もできる。神魂神社と深い関わりがあり、神魂神社の祭日には「御餅つあん」という行事もある。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 大庭団地下車、徒歩10分
 <連絡先> 0852-21-1791(千手院)

縁むすびも神だのみ 八重垣神社

松江市佐草町
 <指定>国重文・絵画
 ヤマトオロチ神話のサノオノミコトとイナタヒメノミコトが、夫婦のちぎりを結んだ所として、「縁むすびの神社」で知られる。近くには恋占いのできる「鏡の池」など、カップルにはおすすめ。収蔵庫には紅のあざやかなイナタヒメノミコトとサノオノミコトを描いた室町～桃山時代の壁画が収められており、いつでも見ることができる。収蔵庫は9時半から5時。無休。大人200円、小中生100円。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 八重垣神社下車すぐ
 <連絡先> 0852-21-1148
 <いにしえ> 6巻P4

道路脇の大きな古墳 大庭鶏塚古墳

松江市大庭町
 <指定>国・史跡
 国道432号線沿いの、住宅が集まっている真ん中にある、一辺が約40mの方墳。2方向に突出した部分(造りだし)があるのが特徴。内部は調査されていないが、まわりは整備され、周囲の溝や古墳の形もよくわかる。正月に金の鶏が鳴くという伝承がある。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 山代下車すぐ

これぞまさしく「出雲の石室」 向山1号墳

松江市大庭町
 住宅地の間の山の斜面にある古墳。墳丘は壊されてほとんどわからないが、近年の発掘調査で30mを超える大きな方墳であることがわかった。さらに、きれいに加工した石を組み合わせて作った出雲地方独特の「石棺式石室」と呼ばれる見事な石室が残っていることもわかった。数ある石棺式石室の中でもっとも残りがよいもので、特徴ある石棺やかんぬき模様の浮き彫りのあるとびろかんなどもある。7世紀前後の出雲地方中心部の有力者の墓と考えられる。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 山代下車、徒歩10分

島根県最大級の古墳 山代二子塚古墳

松江市山代町
 <指定>国・史跡
 県内最大の古墳。もちろぬ島根県最大の前方後方墳。1925年、日本で初めて「前方後方墳」という名前がつけられたのがここ。スーパーマーケットの裏にあり、一見すると森のようだが、じつは100m近くあるすばらしく大きい古墳。墳丘は2段に造られ、墓石もある。まわりには幅10mほどの溝があり、周囲と区画されていたことも発掘調査でわかった。現在、部分的に調査整備されつつあり、今後が楽しみな古墳。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 山代下車徒歩5分
 <いにしえ> 3巻P42

公民館の裏山は古墳だった 山代方墳

松江市山代町
 <指定>国・史跡
 山代二子塚古墳の隣り、山代原公民館の後ろにある小山が、出雲地方を代表する古墳。一辺約45mの方墳で2段に形作られ、周囲には溝や土壇(古墳のまわりに作られた土手)も残っている。内部には幅2m以上の石棺式石室(石でできた遺体を置く部屋)がある、入口は一部閉塞石(石室の入口のフタ)が残っているので狭い。懐中電灯は必須。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 山代下車、徒歩10分
 <いにしえ> 3巻P20

古代の米倉 山代郷正倉跡

松江市大庭町
 <指定>国・史跡
 通称「大庭十字路」沿いには、古代の倉庫が立ち並んでいた。『出雲国風土記』にも記載され、奈良時代の税である米を保管していた所がここ。建物や欄、溝の跡などもあり、大規模な倉庫だったことがわかる。発掘調査では炭状になった米も大量に見つかり、1200年たった今でも当時の様子をリアルに伝えている。現在柱跡などが、わかるように復元整備されている。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 大庭十字路下車すぐ
 <いにしえ> 5巻P30

私立のお寺 四王寺跡

松江市山代町
 <指定>県・史跡
 「大庭十字路」を東に約200m。発掘調査で瓦や建物跡が見つかった寺院遺跡。瓦などは風土記の丘資料館で展示している。奈良時代に地元の有力者が建てたお寺の1つ。『出雲国風土記』に記載されている新造院寺?と考えられ、出雲国造(古代の地元豪族の代表者)になった出雲臣弟山が造り、僧が1人いたと書かれている。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 大庭十字路下車、徒歩5分
 <いにしえ> 5巻P31、6巻P32

なんと、古代人の絵があった 十王免横穴墓群

松江市矢田町
 <指定>県・史跡
 矢田町の松江内陸工業団地の中、ゴミ処理場付近にある横穴墓群。工業団地造成によって多くは姿を消したが、それでも27穴を残す東部出雲を代表する横穴墓群だ。6世紀後半から7世紀にかけて造られ、天井がまぼこ状や家形など、さまざまな形のものが発見されている。真つ暗闇の壁面に狩人や船を描いた壁画が見つかり、注目された。中にはいれるものがほとんどないのは残念。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 内陸工業団地下車、徒歩5分

巨大な岩の塊、実は古墳なんです 岩屋後古墳

松江市大草町
 <指定>県・史跡
 水田の中に岩の塊として見えるが、実はこれが古墳。当時は盛り土があったのだが、今はなくなってしまっている。出雲地方に多い石棺式石室で、巨大な一枚石で作られている。石棺式石室としては最大のもので、大石を組み合わせた古代人の技術の高さを想像できる。出土品として、人物埴輪などがある。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩5分
 <いにしえ> 3巻P25

ミステリアスな古墳 御崎山古墳

松江市大草町
 <指定>県・史跡
 岩屋後古墳の南側の竹林の中にあり、上には祠がある。墳丘の残りは良く、周囲を歩くと墳長40m

の前方後方墳の形がわかる。横穴式石室だが、現在は埋め戻され内部は見ることができない。内部には、九州との関係を示す石棺が2つある。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩10分

天平時代の国立寺院 出雲国分寺跡

松江市竹矢町
 <指定>国・史跡
 741年、奈良の大仏を作った聖武天皇の発願によって、全国に作られた国分寺の一つ。発掘調査で金堂、講堂、塔、南門などの跡が発見され、整備された。ここで見つかった瓦は朝鮮半島との関係があり貴重な珍しいもので、現在は風土記の丘資料館に展示されている。寺跡の前には「天平古道」という石敷の道が当時のまま残っているが、実物は道路の下にあって見ることはできない。
 <交通> J R松江駅からバス20分
 武内神社下車、徒歩15分
 <いにしえ> 5巻P31、6巻P34

広さにびっくり、古代の県庁 出雲国庁跡

松江市大草町
 <指定>国・史跡
 奈良時代から室町時代まで出雲の国の中心地、今と言えば「県庁」にあたる所。1971年から発掘調査され、当時の姿が明らかになった。ここには政治以外にも、学校、宝物や武器米を蓄える倉庫、玉作工房など、さまざまな目的の建物が建っていたようだ。現在は柱跡や溝跡が復元整備されているが、それらは一部分にすぎない。周囲の田んぼや六所神社もかつては国庁だったと想像すると、その広さにあらためて驚かされる。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩20分
 <いにしえ> 5巻P30

出雲の神が集まった 六所神社

松江市大草町
 <指定>県・絵画
 出雲国庁跡に隣接し、「総社」とも呼ばれる。もとは国庁の一角にあり、国司(中央から派遣されてきた役人)が国内の神社を参拝して回る代わりに、すべての神をここに集めて参拝したもの。本殿には江戸時代中期のものと思われる壁画(県指定)がある。
 <交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩20分
 <いにしえ> 6巻P20

神秘的な山 茶臼山

松江市山代町
 『出雲国風土記』に神名樋野と書かれた山。古代から信仰された山で、西から見るときれいな富士山形をしている。中世には山城としても使われており、空堀の跡も見られる。頂上までは20分で登れ、古代『出雲国風土記』の世界が一望でき、眺めは最高。山頂には桜も植えられており、ハイキングコースになっている。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 山代下車、徒歩40分
 <いにしえ> 5巻P18、6巻P9

古墳めぐりのハイキングコース 大草古墳群

松江市大草町
 六所神社の前を流れる意宇川を渡ると、そこが「大草古墳群」の入口。このあたり一帯の丘陵にはさまざまな種類の古墳が集まり、さながら「古墳博物館」だ。橋を渡り細い道に沿って歩くと、次から次へと古墳が見えてくる。古墳をたぶつり味わいながら散策するにはもってこいのコース。所要時間60分。

ふるでんじん 古天神古墳

<指定>県・史跡
 山道を登っていくと見えてくる、長さ約27mの前方後方墳。「石棺式石室」という出雲地方独特の石室の中でももっとも古いタイプで、実際に中にはいって見ることができる。奥壁には幅2mの石材が使われ、仕切りがある。仕切りの中央がU字形に加工されているのは九州地方の特徴で、出雲地方では珍しい。

ひがしひやくづかやま 東百塚山・西百塚山古墳群

<指定>県・史跡
 散策コースを歩き進むと、標示板が見えてくる。このあたり一帯は古墳だらけで、今わかっているだけでも東百塚山古墳群には66基以上の古墳が

茶臼山のおひざもと 真名井神社

松江市山代町
 <指定>県・建造物(本殿)
 茶臼山の東ふもとにあり、急な石段を登ると静かに建っている大社造りの荘厳な建物。イザナギノミコトを祀り、今でも「イザナギさん」と呼ばれる。本殿庫には江戸時代に描かれた極彩色の絵があったが、今は県立博物館で保管されている。境内からは、国庁跡などがある意宇平野が一望できる。近くには神水とされる「真名井の滝」もある。夏はここで、流しそめんも味わえる。
 <交通> J R松江駅からバス30分
 大庭十字路下車、徒歩15分
 <いにしえ> 6巻P20

ある。しかし残念ながら、木が生い茂っていてよく見えない。谷を挟んだ西百塚山古墳群はまだ謎に包まれている。散策コースを注意して歩いていると、林の中に古墳の高まりを見つることができる。

おおくさいわふね 大草岩船古墳

<指定>県・史跡
 散策コースの中間地点、山の頂上付近にある。露出した自然の岩をくりぬいて棺を作っている珍しい古墳。石棺は長さ1.8mで実際に横たわってみることもできる。足部にある水抜き用の溝も見落とさないように。当時は盛り土があったが、現在は残っていないので、もとの形は不明。

あべだに 安部谷横穴墓群

<指定>国・史跡
 大草古墳群のある丘陵の東側、山の斜面に横穴墓が並んで見えてくる。岩壁を精巧にくりぬいた5つの横穴墓は壮観。どれも中まではいれ、家形になった内部の形や遺体を置いたベッドの名残も見られる。造っている途中で埋葬が必要になったのか、あわてて造ったあとがあるのもおもしろい。

<交通> J R松江駅からバス35分
 風土記の丘下車、徒歩20分
 <いにしえ> 3巻P15

おたっせー情報

六所神社の鳥居をくぐってすぐ左手には、巨大な岩が横たわっている。地元古老の談によるとこれは、昭和初期ごろに意宇川をはさんだ丘陵にある大草古墳群の丘陵から青年団で担ぎおろしたもので、古墳と関連があるという可能性も……。